

中学校社会科（地理的分野）学習指導案

指導者 廿日市市立大野中学校 教諭 迫 有香

- 1 日時 平成22年2月25日（木）～3月4日（木）
- 2 学年・組 第二学年
- 3 場所 廿日市市立大野中学校
- 4 単元名 日本の諸地域 他地域との結び付きを中核とした考察「中国・四国地方」の場合
- 5 研修テーマ 社会的な見方や考え方を養う中学校社会科の授業改善
一事象の特色や事象間の関連を説明する学習を通して—

6 研修テーマとのかかわり

「明石海峡大橋が地域（徳島市）に与えた影響」についての学習で習得した理論的知識を活用して浜田自動車道が地域に与える影響を演繹的に検証し、説明する。

明石海峡大橋と浜田自動車道整備がもたらす地域変容という二つの社会的事象の関連を説明する学習を通して、単発の個別的知識の習得に終始する学習から生徒をレベルアップさせ、事象間の比較から見出す理論的知識を成長させることができる。

7 単元について

(1) 教材観

①中学校学習指導要領における位置付け

本単元は、中学校学習指導要領（平成20年）地理的分野の内容（2）ウ日本の諸地域（キ）に基づき設定した。「日本の諸地域」では、「日本を幾つかの地域に区分し、それぞれの地域について」、「(ア)～(キ)」で示した考察の仕方を基にして、「地域の特色をとらえさせる」ことをねらいとしている。中学校学習指導要領解説社会編（平成20年）では、この中項目の指導に当たり、「地域の特色ある事象や事柄を中核として、それを他の事象と有機的に関連付けて、地域の特色を追究するようにすることとし、動的に扱うようにしたもの」とされている。「(キ) 他地域との結び付きを中核とした考察」については、「地域の交通・通信網に関する特色ある事象を中核として、それを物資や人々の移動の特色や変化などを関連付け、世界や日本の他の地域の結び付きの影響を受けながら、地域は変容していることなどについて考える。」と示されている。

中国・四国地方とは、中国地方と四国地方の9県をまとめた呼称である。中国・四国地方は、現在、本州四国連絡橋や高速自動車道等の交通体系の整備や瀬戸内海の環境保全など、両地方の共通の課題について協議会が設置されている他、一部省庁の出先機関や企業の支店設置で見られる地域区分である。他地域との結び付きの視点で両地方を見ると、中山間地域の過疎地域を抱え、都市との結び付きを可能にするために高速道路網が整備されている。高速交通手段の整備によって他地域との結び付きが深まった反面、その結果もたらされる経済的な地域の変容である「ストロー効果」を生んだ。

②「社会的な見方や考え方（理論的知識）」としての「地域経済学におけるストロー効果」とは

地域経済学とは、地域経済の空間構造の法則性を解明し、さまざまな地域問題の原因と解決方法を追究する学問である。地域経済学の空間構造の法則性の一つである「ストロー効果」とは、高速交通手段の整備によって、地方都市の拠点性が低下することである。この「ストロー効果」という言葉は、瀬戸大橋開通前の備讃地域開発計画に参画した小野五郎四国通産局総務部長（現埼玉大学教授）が、「大橋のような幹線交通路が開かれると、大きい方の経済圏に小さい方の経済圏のメリットが飲み込まれてしまうから、予め四国島内の交通網整備による四県の結束と物流拠点の整備を図る必要がある」と警告を發したのが最初である。以降、社会資本が地域に与えた影響を解明する際に、「ストロー効果」や「ストロー現象」と表されるようになった。

この「ストロー効果」の規模は一定ではない。高速交通手段で結ばれた都市間の規模の差や都市間の距離によって拠点性低下の度合いは異なる。すなわち、一定の距離がある各地方の中心地同士を結ぶ社会資本が整備されたからといって、各地方の中心地にもう一方の中心地からの経済的流出が顕著に起きる可能性は低い。むしろ、同一の商圏にある都市間に大きな規模や機能の差があり、その都市間を結ぶ社会資本が整備され、なおかつ移動にかかるコストが低い場合に、大きな都市に規模の小さな都市から経済的流出が起きる。新幹線に限らず、高速交通手段の開業は常にストロー効果をもたらす可能性をもつ。

直接的なストロー効果の具体例としては、高速交通手段の開業によって、地方都市から大都市への買い物客が増加し、地方都市の販売店の収益が減少することが分かりやすい例である。まるで大都市がストローをくわえた口であれば、ストロー（ここでは高速交通手段）を通して、地方の拠点性が吸われていくような現象のこ

とである。また、その他の事例としては、高速交通手段の開業によって、日帰り出張が増え、地方に置かれていた拠点を維持する必要がなくなり、企業の支店などが撤退することもある。

間接的なストロー効果の具体例として、流通上のネックも解消されることで、地方都市へ郊外型大型店やコンビニエンスストア、全国規模のスーパー・家電量販店などが進出できるようになることがあげられる。これにより、直接的なストロー効果で消費者が減った地域のスーパーや地元商店街等が、更なる追い討ちを受けることも多い。

一方でストロー効果をもたらさずに、高速交通手段の整備を地域の発展に結びつけることができるかどうかは、その地域にどのくらい他地域から人や企業を集める魅力があるかによる。ストロー効果で拠点性が低下した都市は、共通して都市の活性化を行うために、行政や地元小売店が一丸となって、地域色を打ち出し、消費者が大都市に行って買うものではない商品の販売に尽力したり、交通の利便性が増したことから、他地域からの観光客に日帰りではなく、宿泊などの長期滞在を促す工夫を行ったりしている。徳島市では、地鶏の流通が好調であり、浜田市では、水族館やお魚センター、石見銀山などの観光スポットのPRを行っている。県レベルでみると、徳島県では、観光業の収益が橋の開通以降微増している。

③高速交通手段としての「本州四国連絡橋」及び「浜田自動車道」について

「本州四国連絡橋」について

本州四国連絡橋は昭和54年の大三島橋の開通以降、昭和63年の児島・坂出ルート（瀬戸中央自動車道）の開通、平成10年の神戸・鳴門ルート（神戸淡路鳴門自動車道）の開通、平成11年の尾道・今治ルート（西瀬戸自動車道）の開通を経て、現在3本のルートで本州と四国の間を結ぶ橋である。

本四道路は、兵庫県と徳島県を結ぶ神戸淡路鳴門自動車道、岡山県と香川県を結ぶ瀬戸中央自動車道、広島県と愛媛県を結ぶ西瀬戸自動車道で構成される。これらの道路は、日常生活はもちろん、通勤・通学や観光など、多様な目的で利用され、瀬戸内地域の交通動脈の役割を担っている。

以下に開業後のメリット・デメリットについて記述する。

《本州四国連絡橋及び本四自動車道開業によるメリット》

- 天候の影響を受けない輸送の実現、突発的需要への対応を可能化。【四国住民及び他地方の住民】
- 四国地方の住民の生活向上。（電力供給、救急医療）【四国住民】
- 本州四国間の自動車交通量の増加。物流の広域化、従来の“在庫型の物流”から“無在庫型の物流”へとシステム変化、搬送時間の短縮による物流コストの削減。【四国住民及び他地方の住民】
- 本州四国間の各ルートにおける所要時間短縮を実現。【四国住民及び他地方の住民】
- 本州四国間の交流人口の増加。本四間を結ぶ高速バスは、平成10年の明石海峡大橋開通以降、京阪神と四国を結ぶ路線を中心に便数及び輸送人員ともに大幅に増加した。【四国住民及び他地方の住民】
- 官民一体となった販売戦略や都市圏での販売活動、高速ネットワークの拡充などにより、出荷量を伸ばしている四国の農産品の誕生。（徳島県産地鶏）【四国住民及び他地方の住民】
- 観光コースとしての魅力【四国住民及び他地方の住民】

《本州四国連絡橋及び本四自動車道整備によるデメリット》

- 交通時間の短縮にともなう人の流出。【四国住民】
- 日帰り観光の増加・宿泊客減少による観光産業への打撃。【四国住民：特に観光業従事者、小売店従事者】
- 四国への大規模小売店舗の出店数2.9倍によるシャッター商店街の増加、中心市街地の衰退、大都市へのストロー効果【四国住民：特に小売店従事者】
- フェリー産業側の打撃。瀬戸中央自動車道開通前は22本あった近畿・中国と四国を結ぶフェリー航路が、現在は8本になった。【フェリー業界】

「浜田自動車道」について

浜田自動車道は、広島県の中国自動車道千代田JCTから中国山地を越え、日本海に面している島根県浜田市に至る56.6kmの高速道路であり、全線開通から19年を迎えた。浜田市内から広島市内まで、高速道路を利用すると1時間40分となり、従来に比べ約1時間短縮された。この浜田自動車道の開通により、休日広島市への買い物客が増加した。これにより、浜田市内の小売業や卸売業は、高速道路開通前と比べ大きな打撃を受けた。

具体的には、島根県政策企画局統計調査課による商業統計調査結果報告書を昭和60年と平成19年を比較すると、浜田市に次のような変化が起きたことがわかる。

一つは、浜田市の小売業・卸売業の店舗数の現象である。昭和60年に合計して1,311店舗あったのが、平成19

年には、1,035店舗となり、約300店舗も減少している。年間商品販売額も、同様に約1,777億円から約1,304億円となり、約473億円も減少している。この結果は、徳島市同様、国内総生産の推移や県内総生産の推移と照らし合わせて、国内のバブル経済の崩壊やアメリカのリーマンショックによる景気後退の結果と短絡的に結び付けて導かれる経済的影響とは言い切れない。景気後退の遠因として説明することは当然妥当であると考えるが、大規模な商店数の減少や売上高の減少は、浜田自動車道開通と相関関係があると考えられる。

二つには、高速道路の整備によって、休日に広島市へ行く人々が増えており、島根県商工会連合会の島根県商勢圏実態調査報告書（平成20年）によると、浜田市の人々の「日常生活の行き先で1番目・2番目に行く頻度の多い市町村」で広島市を日用品以外の娯楽・レジャー目的で1番目・2番目にあげている人は、56.6%にのぼる。

この二つのことから、高速道路を活用し、日用品以外の買物で広島市に行く人が多いことがわかる。その結果、広島市で購入する商品と重なる小売店から経営がひっ迫したことが分かる。以上のことから、浜田市にいわゆる直接的なストロー効果が見られ、市の中心部の商店街はシャッター商店街化しているところもある。また、高速道路の開通によって、物流の時間短縮が図られ、広島を拠点とする大手小売店や九州を拠点とする激安ショップが出店し、他県の小売店に収益が移動する間接的なストロー効果をひきおこしている。こうした浜田自動車道開通後のストロー効果やそれにもなう地域変化に対応するために、市政や商工会議所では、浜田自動車道をいかに活用したまちづくりを行うか、観光業に力を注ぎ、観光業を中心に小売業の売り上げを伸ばそうと工夫している。

(2) 生徒観

国立教育政策研究所（平成20年）「特定の課題に関する調査（社会）」によると、中学校社会科地理的分野について、調査結果における主な課題として、次のようなものがあげられている。

- 《基礎・基本となる知識・概念》
- 基本的な地理用語について、類似語との混同や意味理解が不十分。
- 《問題解決的な学習》
- 地形図や資料を読み取り、比較しながら分かったことをまとめる力が不十分。

この他の分析結果からみた主な課題と指導上の改善では、「地域的特色を自分の言葉で簡潔に表現し、その根拠を説明したりする力を問う問題の通過率は、他の問題と比べて低い傾向がある」と述べられている。

(3) 指導観

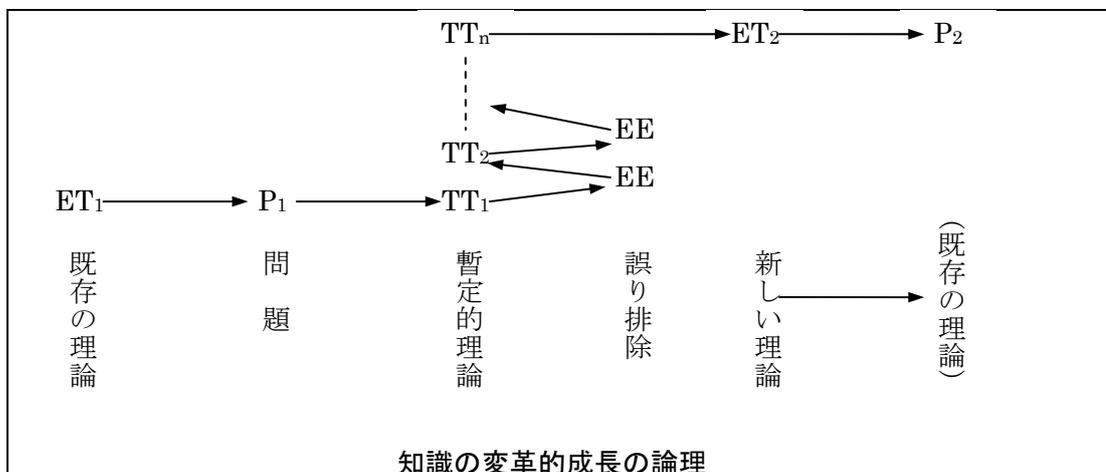
①社会的な見方や考え方の育成

「社会的な見方や考え方」については、中学校学習指導要領解説社会編（平成20年）地理的分野においては、「地理的な見方や考え方」として、分野の目標（1）に次のように示されている。

- (1) 日本や世界の地理的事象に対する関心を高め、広い視野に立って我が国の国土及び世界の諸地域の地域的特色を考察し理解させ、地理的な見方や考え方の基礎を培い、我が国の国土及び世界の諸地域に関する地理的認識を養う。

②単元構成の論理

単元構成の論理については、森分孝治氏の探求の論理に依拠する。



他地域との結び付きを中核とした考察を「中国・四国地方」で行う場合、本単元において、知識を変革的に成長させるとはいかなることか以下に述べたい。

ET1 を形成した既習事項 京阪神地方と徳島県を結ぶ明石海峡大橋が開業したら、輸送や物流が広域化し便利になった。

ET1 規模の大きな都市と小さな都市を結ぶ高速交通手段が整備されると、小さな都市の商業は発展する。

P1 京阪神地方と徳島県を結ぶ明石海峡大橋が開業したら、徳島市の経済は衰退しているではないか。ET1 で説明できないな。困ったな。

TT1～n 規模の大きな都市と小さな都市を結ぶ高速交通手段が整備されると、小さな都市の商業は衰退する可能性がある。

EE 徳島市の人は京阪神地方へ買い物に行くようになった。

EE 徳島市の店舗数や年間売上額は明石海峡大橋開業前後で大幅に減少し、市の中心部はシャッター商店街化した。

ET2 規模の大きな都市と小さな都市を結ぶ高速交通手段が整備されると、輸送や物流の利便性が増すと同時に、小さな都市の商業は衰退し、小さな都市側はさらなる衰退を懸念する。(ストロー効果) 知識の転移 (瀬戸内海の島々を結ぶ橋でも同様のことが言えた。)

P2 広島市と浜田市を結ぶ浜田自動車道が開通したら、浜田に郊外型大型小売店がいくつも出店した。浜田市に郊外型大型小売店が出店するという事は、浜田市の人は広島へ行かずに、地元の郊外型大型小売店で買い物ができるので、地域経済は活性化しているではないか。でも浜田市の商工会議所の所長さんは、郊外型大型小売店の出店が地元の商業に打撃を与えるとおっしゃっている。ET2 で説明できないな。困ったな。

ET3 規模の大きな都市と小さな都市を結ぶ高速交通手段が整備されると、輸送や物流の利便性が増すと同時に、小さな都市の商業は直接的にも間接的にも大都市に収益を吸収され衰退し、小さな都市はさらなる衰退を懸念する。(ストロー効果)

P3 「ストロー効果」の拡大を懸念する地方自治体が、高速道路無料化を歓迎しているではないか。これでは、ますます地域経済は衰退するではないか。ET3 で説明できないな。困ったな。

ET4 規模の大きな都市と小さな都市を結ぶ、高速交通手段が整備されると、輸送や物流の利便性が増すと同時に、小さな都市の商業は衰退するが、地域の歴史的要因や自然環境が生み出す観光資源を中心に観光業は発展する可能性がある。

徳島県の事例でいえば、京阪神地方で購入する商品と関連する商店の年間販売額が減少しているが、地域の活性化を図るために力を注いでいる観光業は、県外からの観光客の増加によって本州四国連絡橋開業以前と比較して収入を増やしている。

この現象をもとに知事は、高速道路無料化は「ピンチを大チャンスに変えることができる」と発言している。明石海峡大橋や浜田自動車道以外でも中国・四国地方にはどこの県でも同じ現象が見られ、さらに都市の活性化の仕方も世界遺産などの観光名所や特産品を大々的にPRし、収益をのばそうとしている。観光名所や特産品は、各地域の歴史的要因や自然環境が生み出している。中国・四国地方では、どのような歴史的要因や自然環境によって、各観光名所や特産品を生み出したのだろうか。

反証過程とは、森分孝治氏に拠ると、生徒が既存の理論を検証 (演繹的に知識を成長させること)・修正する過程である。既存の理論を暫定的理論に成長する過程及び、成長した理論を活用して他の事象を検証する過程両方であり、授業の構成においては、ET1 を ET4 へと成長させることである。授業終了後も ET4 は生徒の生涯にわたって検証を行う可能性を開いている。

本単元では、高速交通手段の整備によって、地方都市の拠点性が低下することである「ストロー効果」を中心に、「規模の大きな都市と小さな都市を結ぶ、高速交通手段が整備されると、輸送や物流の利便性が増すと同時に、小さな都市の商業は衰退するが、観光業は発展する可能性がある。」という社会的な見方や考え方 (理論) として習得する。この「ストロー効果」の理解には二つの立場を設定する必要がある。まず、消費者の立場からは、社会資本の整備によって、移動時間の短縮等に表される交通の便がよくなり、交通にかかるコストがリーズナブルになり、消費の選択幅が広がるというメリットがある。逆に地元商店街などの小売店は、売り上げが下がり、他地域から出店してきた小売店との競争が激化し、衰退するというデメリットである。この両者の立場からの理解を生徒にさせたい。本単元では、本州四国連絡橋は三本整備されていることから、すべてを取り扱うと複雑な学習展開になるので、ストロー効果をまねいた顕著な事例として明石海峡大橋に焦点化し、指導を行う。さらに、本単元で習得する「規模の大きな都市と小さな都市を結ぶ橋が開業すると、輸送や物流の利便性が増すと同時に、小さな都市の商業は衰退し、小さな都市側はさらなる衰退を懸念する。(ストロー効果)」が、架橋だけにみられ

る現象ではなく、高速道路の整備でも起きるとい知識の成長過程としての浜田自動車道事例を用意する。そして、広島市への買い物客の流出によって浜田市の商業が衰退する類似点を発見させる（累積的成長）だけではなく、浜田市に他県から出店した郊外型大手小売店の出店によっても浜田市の商業は衰退することを生徒に気付かせ、生徒の知識を変革的に成長させたい。

最終的に、「地元の商業の衰退に拍車をかける可能性がある高速道路無料化を、商業の衰退を懸念する地方自治体が歓迎している」を反証し、観光業の収益が微増していることを発見させ、生徒の知識が変革的に成長するように指導したい。本単元の学習指導に当たっては、経済の諸理論を生徒に分かりやすく習得させるために、資料選択の工夫を行い、DVD や現地浜田市で指導者が撮影したビデオレターの視聴を行わせる。

8 単元目標

中国・四国地方の地域的特色を本州四国連絡橋や高速道路等の社会資本整備の影響を通して理解する。

9 単元の評価規準

ア 社会的事象への関心・意欲・態度	イ 社会的な思考・判断	ウ 資料活用の技能・表現	エ 社会的事象についての知識・理解
①「高速交通手段がもたらす経済効果や地域の変化」はどのようなものか仮説をたて、意欲的に探求している。	①既存の知識を反証し、新たな理論を発見している。	①中国・四国地方とはいかなる地域なのかを明らかにし、レポート形式でまとめている。	①「高速交通手段がもたらす経済効果や地域の変化」に関する知識を身に付けている。 ②浜田自動車道が地域に与えた影響を理論的知識を活用し説明している。

10 単元指導計画（全5時間）

時	学習内容及び活動	関	思	資	知	評価規準	評価方法
1	本州四国連絡橋って何だろう？橋や高速道路開業の効果を予想しよう。	◎				本州四国連絡橋を事例に「高速交通手段がもたらす経済効果や地域の変化」はどのようなものか仮説をたて、意欲的に探求している。	発言内容 ワークシート
2	なぜ明石海峡大橋ができて、徳島県の人にプラスの効果をもたらしたのだろうか？				◎	明石海峡大橋及び自動車道の開通によってもたらされる徳島市等近隣都市へのプラスの効果（経済効果）に関する知識を身に付けている。	発言内容 ワークシート
3	なぜ明石海峡大橋ができて、徳島の人にマイナスの効果をもたらしたのだろうか？		◎			既存の知識を反証し、新たな理論を発見している。	発言内容 ワークシート
4	浜田自動車道は、地域にどのような影響を与えたのだろうか。				◎	浜田自動車道が地域に与えた影響を理論的知識を活用し説明している。	ワークシート
5	中国・四国地方の諸都市がいかに「ストロー効果」という共通の地域的課題を現実を受け止め、街を活性化しようとしているか調べ、単元を通じ、『中国・四国地方』とはいかなる地方なのかをまとめよう。				◎	中国・四国地方とはいかなる地域なのかを明らかにし、レポート形式でまとめている。	発言内容 レポート

11 本時の展開

(4) 本時の展開 1時間目

大野モデル	発問・説明・指示	教授・学習活動	資料	生徒から引き出したい知識	評価規準 (評価方法)
見通しを持つ	<p>1 既習内容の整理</p> <p>○これから、中国・四国地方についての学習を始めます。まず、中国・四国地方9県の名称と位置を確認しましょう。なんとという県がありましたか。</p>	<p>T: 発問する。 P: 振り返り発表する。</p>	<p>中国・四国地方の掛け地図 地図帳 ワークシート</p>	<p>○広島県・山口県・岡山県・島根県・鳥取県・香川県・愛媛県・徳島県・高知県</p>	
	<p>2 本州四国連絡橋って何だろう？</p> <p>○この二つの地方を結ぶ巨大な高速交通手段ができました。何でしょうか。</p> <p>○どこどこを結んでいる橋かを確認しましょう。</p> <p>○写真を見てください。これは、神戸・鳴門ルートをつなぐ明石海峡大橋です。今日は、この明石海峡大橋ができて、徳島市にどのような影響をもたらしたのか予想していきましょう。</p> <p>○まず自分の考えをワークシートに書いてみよう。</p>	<p>T: 発問する。 P: 発表する。</p> <p>T: 指示する。 P: ワークシートの白地図に記述する。</p>	<p>ワークシート 写真</p>	<p>○確か瀬戸大橋って呼ばれていたと思います。</p> <p>○昭和63年児島・坂出ルート開業 ○平成10年神戸・鳴門ルート ○平成11年尾道・今治ルート</p>	
	<p>3 本時の学習課題を確認</p>				
自分の考えを持つ 考えを交流する さらに考えを深める	<p>◎明石海峡大橋は、徳島市の人にどのような影響を与えたのだろうか？予想してみよう。</p>				
	<p>○本時の学習課題をワークシートに書いて整理しよう。</p> <p>○明石海峡大橋が、徳島市の人にどのようなえい影響を与えたのか、自分の考えを交流し、班内で交流しよう。</p> <p>○班内で、交流した内容をまとめ、発表しよう。</p>	<p>T: 説明する。 P: ワークシートに書きこむ。</p> <p>T: 指示する。 P: 班内で交流する。</p>	<p>ワークシート</p>		<p>本州四国連絡橋を事例に「高速交通手段がもたらす経済効果や地域の変化」はどのようなものか仮説をたて、意欲的に探求している。 [発言内容・ワークシート]</p>
まとめる	<p>○今日の学習を通して、みなさんが立てた予想を、次の時間の学習で確かめていきましょう。</p>	<p>T: 指示する。</p>			

本時の展開 2時間目

大野モデル	発問・説明・指示	教授・学習活動	資料	生徒から引き出したい知識	評価規準 (評価方法)
見通しを持つ	<p>1 既習内容の整理</p> <p>○前時では、みなさんに明石海峡大橋ができたなら、徳島の人にどのような影響を与えるか予想をしてもらいました。各自の予想や班の予想を思い出してみましょう。</p>	T: 投げかける。	各班の予想を書いた短冊	各班の予想としてあげられるもの ○人や物の移動が便利になった。 ○観光客が増えた。 ○徳島の人が、中国地方や近畿地方へでかける回数が増えた。	
	<p>2 本時の学習課題を確認</p>				
<p>◎明石海峡大橋は、徳島市の人にどのようなプラスの効果を与えたのだろうか？説明してみよう。</p>					
自分の考えを持つ 考えを交流する さらに考えを深める	<p>○本時の学習課題をワークシートに書いて整理しよう。</p>	T: 説明する。 P: ワークシートに書きこむ。	ワークシート		
	<p>3 前時で立てた予想と社会的事実を資料を読み解き、比較してみよう。</p> <p>○それでは、資料を読み解き、みなさんの予想と事実を比較していきましょう。</p> <p>○資料①を見てください。</p> <p>○この資料を読み解くと、何がわかりますか？</p> <p>○なぜ自動車の台数が増えたのでしょうか？資料②・③・④・⑤を参考に考えてみましょう。</p> <p>○高速バスの便数は、明石海峡大橋開業後にどのように変化していますか。</p> <p>○行き先は、どうだろう？</p> <p>○ということは、人の移動が大変増え、さらに広域化したことがわかりま</p>	<p>T: 投げかける。</p> <p>T: 提示し、発問する。</p> <p>P: 資料を読み解き、発表する。</p> <p>T: 提示し、発問する。</p> <p>P: 資料を読み解き、発表する。</p> <p>T: 提示し、発問する。</p> <p>P: 資料を読み解き、発表する。</p> <p>T: 提示し、発問する。</p> <p>P: 資料を読み解き、発表する。</p> <p>T: 発問する。</p> <p>P: 答える。</p>	<p>資料①自動車台数の推移（本州四国連絡橋高速道路株式会社・四国運輸局）</p> <p>資料②時間の短縮（本州四国連絡橋株式会社）</p> <p>資料③通勤・通学定期旅客数の推移（JR 四国）</p> <p>資料④苦境にあえぐフェリー業界 高速道路割引への手この手（TRAVEL JOURNAL）</p> <p>資料⑤本四国間高速バス便数・輸送人員の推移（本州四国連絡橋株式会社）</p>	<p>○橋ができてから、自動車台数が、大変増えた。</p> <p>○橋の開業によって、神戸・鳴門間が、3時間も短縮されたから、フェリーに乗るよりも、自動車で移動する人が増えたのだと思います。</p> <p>○通勤・通学者も増え、橋を利用する人が増えたのだと思います。</p> <p>○フェリーを利用せずに、高速バスを利用するようになったのだと思います。だから、高速バスの便数もものすごく増えています。</p> <p>○現在 284.5 便になっているが、開業直後でも 92 便しかなく、とても増えたことがわかる。</p> <p>○岡山・広島・福岡行きも増えたが、圧倒的に大阪・神戸・京都・奈良行きが増えている。東京・横浜・名古屋行きも増えている。</p> <p>○物の移動も増えたり、広がったと思う。</p>	

<p>自分の考えを持つ 考えを交流する さらに考えを深める</p>	<p>すね。では、物はどうでしょう？皆さんの予想はどうでしたか？</p> <p>○では、皆さんの予想と、事実を比べてみましょう。資料⑥を見てみましょう。これは、徳島県地鶏の事例です。明石海峡大橋開業以降どうなっていますか。</p> <p>○つまり、どういうことが言えるのかな。</p> <p>○商業が発展したと言えますね。では、次は生活面について見てみましょう。資料⑦を読み解き、説明してみよう。</p> <p>○商業はもちろんのことながら、徳島の人の生活向上にも橋は役に立っていることがわかりますね。</p>	<p>T: 提示し、発問する。</p> <p>P: 資料を読み解き、発表する。</p> <p>T: 発問する。</p> <p>P: 答える。</p> <p>T: 提示し、発問する。</p> <p>P: 資料を読み解き、発表する。</p> <p>T: 説明する。</p>	<p>資料⑥高級鶏肉「阿波尾鶏」で販路を拡大、出荷量は全国一（本州四国連絡橋株式会社）</p> <p>資料⑦救急医療搬送件数と所要時間（本州四国連絡橋株式会社）</p>	<p>○高速道路を使った冷凍・冷蔵輸送により、中国・近畿・関東に販路を拡大し、国内シェアが全国一になっている。</p> <p>○橋ができて、運ぶのが便利になったし、時間もかからずたくさん運べるようになったので徳島の人々が儲かるようになった。</p> <p>○橋ができて、搬送時間が短くなり、搬送件数が増えているため、広域にわたる医療協力が実現している。</p>	
<p>まとめる</p>	<p>○今日の学習を通して、なぜ明石海峡大橋が徳島市の人にプラスの効果を与えたと言えるのか、ワークシートにまとめてみましょう。</p> <p>○輸送が便利になったり、物流の広域化を実現できたりしたことから、明石海峡大橋の開業によって、徳島市等の四国の都市の商業はどのようなようになったと言えますか。</p>	<p>T: 指示する。</p> <p>P: ワークシートに説明し、記述する。</p>	<p>ワークシート</p>	<p>明石海峡大橋開業後のメリット</p> <ul style="list-style-type: none"> ○天候の影響を受けない輸送の実現 ○四国地方の住民の生活向上 ○物流の広域化 ○所要時間の短縮 ○交流人口の増加 ○出荷量を伸ばしている農産物の誕生 ○観光コースとしての魅力 <p>○発展したと言える。</p>	<p>明石海峡大橋及び自動車道の開通によってもたらされる徳島市等近隣都市へのプラスの効果（経済効果）に関する知識を身に付けている。[発言内容・ワークシート]</p>
<p>規模の大きな都市と小さな都市を結ぶ交通手段が整備されると、小さな都市の商業は発展する。</p>					

本時の展開 3 時間目

	学習活動	指導上の留意点 ●努力を要すると判断される生徒への手だて	評価規準 (評価方法)
見通しを持つ	<p>1 既習内容の整理</p> <p>橋ができると、いろいろと便利なことがありましたね。どんなことがありましたか？</p>	<p>●前回までに学習した社会的事象を、生徒が認識できているかどうか確認する。</p> <p>何人かの発表で確認する</p>	
	<p>2 だけど、困ったことも起きました。それはどんなことだと思いますか？</p> <p>○一時間目に皆さんが予想を立てた、橋ができて「便利になったこと」と「困るようになったこと」の「困ること」を発表してみましょう。</p>	<p>P: みんな徳島から出て行った。 P: フェリー会社の人が困った。フェリーに乗る人が少なくなったから。 P: 観光客によって治安が悪化した。</p>	
	<p>3 本時の学習課題を確認</p>	<p>○学習課題を明確にし、学習への心構えを持たせる。</p>	
<p>なぜ「明石海峡大橋」ができて「困ること」がおきたのだろう？資料を読み解き、説明してみよう。</p>			
自分の考えを持つ 考えを交流する さらに考えを深める	<p>4 分布図を読み解こう</p> <p>○さて、この分布図は、徳島県の人々が、どこかへ出かけて行く人の割合が高い地域を色分けしている分布図です。どの方面へ行く割合だと思いますか？</p> <p>○発表してみよう</p>	<div style="text-align: center;"> <h3>阪神方面への購買流出率(婦人・子供服)</h3> <p>1996年 1998年</p> <p>単位%</p> </div>	
	<p>5 統計表を読み解こう</p> <p>○先ほどみてもらった分布図は、婦人服や</p>	<p>P: 右上の淡路島に近い方が、明石海峡大橋がかかった後の1998年で赤く、数値が高い。 P: 徳島県西部はあまり変化がない。 P: 何だか橋の近くは真っ赤であるので、橋の影響を大きく受けていることがわかる。 P: 淡路島方面の割合が高いから、大阪や神戸、京都の方だと思う。 P: 隣県の香川を経由して岡山や広島まで来ているのだと思う。</p> <p>P: 仕事。橋ができて移動時間が短縮されて、仕事をして帰ってくるできるようになった。</p>	

子供服の阪神方面への購買流出率を示したものでした。簡単に言うと、橋ができる前とできた後に阪神方面に買い物に行く人の割合がどれくらい変化したかを表すものです。衣料品以外でも同じことが言えるのでしょうか？

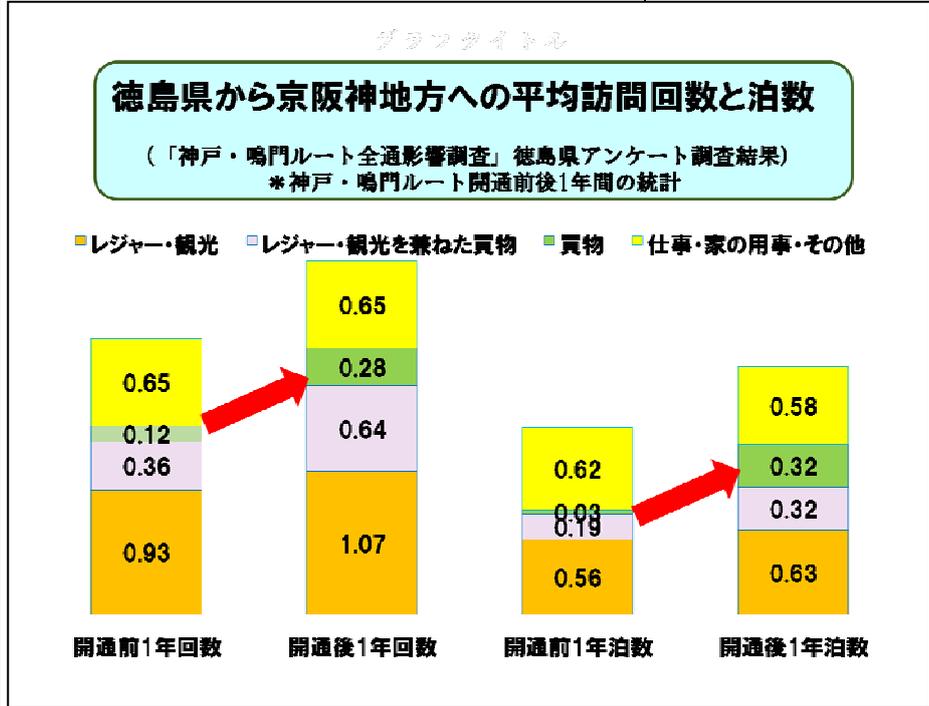
P：買い物。徳島よりも大阪や神戸みたいな大都市で、買ったから。
 P：旅行。日帰りで帰って来ることができる。大阪で芸人を見てもその日のうちには帰って来ることができる。
 P：衣料品以外でも言える。

自分の考えを持つ
 考えを交流する
 さらに考えを深める

○どれくらいの変化がありますか？

○たくさんの方が買い物に行くようになったのですね。人口11万人の都市である廿日市市と比較すると、26万人の徳島市や、6万人の鳴門市はそんなに小さな都市とは言えませんね。廿日市市にもたくさん買物をする場所がありますね。このように考えてみると、どうして徳島県の人々は阪神方面に買い物に行くのでしょうか？説明しよう。

○買う人は、同じ買うならたくさん種類からいいものを買える場所に移動することがわかりましたね。徳島県人は橋がかかって移動時間が短縮されるし、いろいろな種類から商品を選ぶことができるようになるし、困ったことなんてないですね。本当にあるのでしょうか？なぜ京阪神で買物をするようになると困ることがでてるので



P：開通前と開通後で2倍になっている。

P：たくさんものがあるから。
 P：徳島では買えない珍しいものが手に入るから。
 P：大都市だから種類が豊富で選びたいから。
 P：いいものが買いたいから。

P：無駄遣いが増えた。
 P：買ったものを持って帰ることが大変になった。
 P：ガソリン代が高くて、結局買い物に払うお金が高くなる。

自分の考えを持つ
考えを交流する

しょうか？説明してみよう。

6 DVD 資料「明石海峡大橋が変えたもの」を見て、本当に困ったことがあるのか検証してみよう！

○さて、明石海峡大橋が開通して、京阪神に買い物に行く人が増えたり、観光に与える影響で困ったことって何だったかな？説明してみよう。

P：徳島県で、徳島の人々がものを買わなくなって、徳島のものを売る人が儲からなくなった。
P：日帰り観光客が増えて、徳島県で買い物をする人が減ってしまった。

7 今日の学習のまとめ

明する。

○このストロー効果って橋だけなのかな？次回は、浜田自動車道について調べてみましょう。

まとめる

「明石海峡大橋」ができて「困ること」がおきたのだ

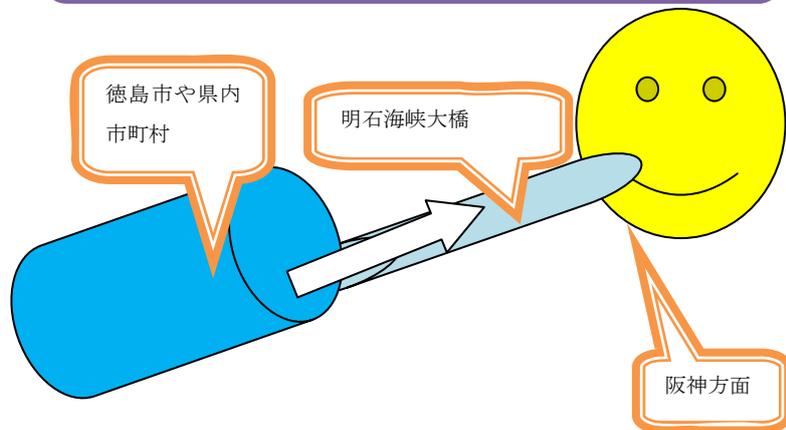


明石海峡大橋ができて、徳島県の人々が、徳島で買うよりも様々な種類から商品を選ぶことができる店舗の多い京阪神地方で買い物をするようになり、徳島県で物売の人達にとっては、もうけを大都市である京阪神に吸い取られてしまうという困った現象が起きた。そのことが明石海峡大橋ができる前後の大きな変化である。

橋のような高速交通手段の開業によって、地方都市から大都市への買物客が増加し、地方都市の販売店の収益が減少する、まるで大都市がストローを銜えた口であれば、ストロー（ここでは高速交通手段）を通して、地方の拠点性が吸われていくような現象をストロー効果という。

[社会的な思考・判断]
生徒が既存の知識で説明する「高速交通手段がもたらす経済効果」を資料の読解を通して反証し、新たな理論「地域経済学におけるストロー効果」・「藤田＝クルーグマン＝ベナブルズの動学モデル」による社会認識を通して、地域間の相互依存関係を科学的に説明している。(ワークシート・授業観察)

ストロー効果



(4) 本時の展開 4 時間目

大野モデル	発問・説明・指示	教授・学習活動	資料	生徒から引き出したい知識	評価規準 (評価方法)
見通しを持つ	<p>1 既習内容の整理</p> <p>○明石海峡大橋が、架かると、徳島県の人々の生活や地域に変化が見られましたね。それはどのようなことでしたか？</p>	<p>T: 前回までに学習した社会的事象を、生徒が認識できているかどうか確認する。</p> <p>T: 発問する。</p> <p>P: 振り返り発表する。</p>	<p>これまでのワークシート</p>	<p>本時に関する既習事項</p> <p>○明石海峡大橋及び自動車道の開通によってもたらされる利便性と、ストロー効果とよばれる地元小売店への打撃。</p>	
	<p>2 新聞記事を読み、「なぜアルパークに島根ナンバーの車が急増したのか」予想を立てよう！</p> <p>○これまでの学習を生かし、新聞記事の一部を読み、なぜアルパークに島根ナンバーの車が急増したのか？予想し、説明してみよう。</p> <p>○島根県の位置は大丈夫ですか。</p> <p>○まず自分の考えをワークシートに書いてみよう。</p> <p>○では、なぜアルパークに島根ナンバーの車が急増したのでしょうか？説明してみましょう。</p> <p>○新聞を最後まで読んでみましょう。当時の新聞の記録では何が原因でアルパークに島根ナンバーの車が急増したと書かれていますか？</p> <p>○あれ？何かに気付きましたか？</p> <p>○徳島市の例のように橋ができて地元の人が大都市で買い物をし、地元の売り上げが大都市に吸収されること何と言いましたか？</p> <p>○浜田自動車道って何だろう？地図や資料をもとに確認しよう。浜田自動車道は、どのような道路ですか。</p> <p>○浜田自動車道の島根側の起点は、何という街ですか。</p>	<p>T: 新聞を読む。 P: 新聞を読む。</p> <p>T: 発問する。 P: 掛け地図で発表者が示し、全体で確認する。</p> <p>T: 指示する。 P: ワークシートに記述する。</p> <p>T: 発問する。 P: 発表する。</p> <p>T: 発問する。 P: 答える。</p> <p>T: 発問する。 P: 振り返り答える。</p> <p>T: 巨大ストローとバケツとでストロー効果を示し、発問する。 P: 答える。</p> <p>T: 発問する。 P: 資料を読み解き答える。 T: 浜田自動車道についての確認位置関係を確認する。</p> <p>T: 発問する。 P: 調べて答える。</p>	<p>中国新聞平成4年(1992年)6月11日(木)横断道異変・広がる商圏の要約</p> <p>掛け地図 中国四国地方</p> <p>中国新聞平成4年(1992年)6月11日(木)横断道異変 広がる商圏 既習のワークシート、 掲示物</p> <p>掛け地図 中国四国地方</p> <p>写真①浜田自動車道 広島側の起点</p> <p>写真②浜田自動車道 浜田側の起点</p>	<p>○アルパークにはいろいろな店があるから、島根の人も行ってみたいと思ったからだと思います。</p> <p>○広島へ来るのが便利になったからだと思います。</p> <p>○中国山地をぬけるトンネルができたからだと思います。</p> <p>○高速道路ができたからだと思います。</p> <p>○中国横断道広島浜田線(浜田自動車道)が開通したため。</p> <p>○明石海峡大橋ができれば、徳島の人京阪神地方で買い物をしようになったことと似ています。</p> <p>○ストロー効果。</p> <p>○浜田自動車道は、広島県の中国自動車道千代田JCTから中国山地を越え、島根県浜田市に至る56.6kmの高速道路であり、全線開通から19年を迎えた。浜田市内から広島市内まで、高速道路を利用すると1時間40分となり、従来に比べ約1時間短縮された。この浜田自動車道の開通により、休日広島市への買い物客が増加した。</p> <p>○浜田市です。</p>	

見直しを持つ	<p>○浜田市の人が浜田自動車道以外で、浜田市から広島市へ買い物に短時間で来ることができる方法が地図や資料から見つかりますか。</p> <p>○浜田市へ行ったことがありますか？</p> <p>○浜田市の人口はどれくらいかな。あわせて廿日市市と広島市と比べてみよう。</p> <p>○ずいぶん浜田市よりも広島市は人口が多いことがわかるね。</p> <p>○これまでの学習を生かして浜田自動車道ができたことによって、浜田市にどのような影響があったのかを考えていきましょう。</p>	<p>T：発問する。 P：調べて答える。</p> <p>T：発問する。 P：答える。 T：発問する。 P：調べて答える。</p> <p>T：説明する。</p>	資料 浜田市の概要	<p>○浜田自動車道以外見つからない。</p> <p>○アクアスやお魚センター、海水浴へ行きました。</p> <p>○浜田市 60,221 人。廿日市市 118,411 人。広島市 1,173,980 人。（平成 21 年）です。</p>
	<div style="border: 2px solid red; padding: 5px; display: inline-block;"> <p>3 本時の学習課題を確認</p> <p>◎浜田自動車道は、地域にどのような影響を与えたのだろうか？説明してみよう。</p> </div>			
自分の考えを持つ 考えを交流する さらに考えを深める	<p>○本時の学習課題をワークシートに書いて整理しよう。</p>	<p>T：説明する。 P：ワークシートに書きこむ。</p>	ワークシート	
	<p>○先ほどの新聞記事にも見られるように、買物客の立場で考えてみると高速道路開業後広島市へ行くことが分かりました。高速道路ができて、商業を営む浜田市の地元小売店の立場から考えると、どのような変化が起きたのかを考えていきましょう。そのためにはどのようなことを調べたらいいでしょうか。</p> <p>○徳島市の変化を調べた時には、どのようなことに着目しましたか。</p> <p>○では二つの視点で考えていきましょう。</p> <p>○たしかめの視点①は、お店の数です。浜田市の商業（小売業や卸売業）をされているお店の数は、浜田自動車道開通前後でどんな変化をしたのかな？</p> <p>○たしかめの視点②は、お店の売り上げです。浜田市の商業をされているお店の売り上げは、浜田自動車道開通前後でどんな変化をしたのかな？</p>	<p>T：投げかける。</p> <p>T：発問する。 P：答える。</p> <p>T：たしかめの視点を示す。</p>	<p>既習事項の掲示物</p> <p>パワーポイント</p>	<p>○徳島市の商業（小売業や卸売業）をされているお店の数や売り上げを見たので、浜田市の場合もその二つを見たらいいと思います。</p>

自分の考えを持つ
考えを交流する
さらに考えを深める

- まずは、たしかめの視点①について予想を立てましょう。浜田市の商業（小売業や卸売業）をされているお店の数は、浜田自動車道開通前後でどんな変化をしたと予想しますか？まずワークシートに自分の考えを書きましょう。
- では発表してみよう。
- 次に、たしかめの視点②について予想を立てましょう。お店の売り上げです。浜田市の商業をされているお店の売り上げは、浜田自動車道開通前後でどんな変化をしたのかな？
- では発表してみよう。
- 予想を確かめてみよう。先生は、2週間前に実際に浜田市へ行って調べてきました。さあ、あなた方が立てた予想は、実際の統計と比較してどうですか？
- そのような状況の中で、浜田市の中心地にある商店街は高速道路が開通してからの19年間でどのように変化したと思いますか？
- 写真や統計資料を見て、たしかめてみよう。どのようなことに気がきますか？



パワーポイント

既習内容の
掲示物

写真
指導者撮影
平成22年1月
撮影の浜田市中心部の商店街

島根県政策企画局統計調査課 商業統計調査結果報告書 昭和60年 平成19年

T: 発問する。
P: 予想し、自分の考えをワークシートに書く。

T: 指示する。
P: 発表する。
T: 発問する。
P: 予想し、自分の考えをワークシートに書く。

P: 発表する。
T: 発問する。
P: 発表する。

T: 発問する。
P: 予想を立て、発表する。

T: 写真や統計資料を示し発問する。
P: 答える。

○徳島でもそうだったように広島へ買い物に行く人が増えたので、倒産した店も出てきたからお店の数は減ったと思う。

○徳島でもそうだったように広島へ買い物に行く人が増えたので、地元で買わなくなってもうけは減ったと思う。

○店舗数は、300店舗近く減り、売り上げも473億円減っている。

○徳島市の中心地と同様にシャッター一商店街になっている。

○商店街がシャッターをおろしている。
○合併して広域になったにも関わらず、浜田市の商店数や従業員数が高速道路開通時と比較して減っている。
○やはりシャッター商店街になっている。

4 高速道路ができて、浜田市の商業に従事する人たちからみた浜田市の変化はどのような変化だったのだろうか？ビデオレターを見てみよう。

- では、実際に浜田市の商工会議所の所長さんからのビデオレターを見てみよう！所長さんの話で浜田市の変容がわかることをメモしよう。
- 所長さんは、どんなことを言っておられますか？
- なぜ浜田自動車道ができた後に郊外型大型小売店が出店してきたのだろうか？

T: 投げかけ、メモをとる指示をする。

T: 発問する。
P: 答える。

ビデオレター
指導者撮影
平成22年1月

○高速道路ができてからの19年間に、広島市へ買い物に行くストローク効果が起きたことや、大型小売店や激安ショップの出店が、地元小売店に打撃を与えていると言われています。

5 なぜ高速道路が開通した後に、郊外型大型小売店が浜田市に出店したのだろうか？

自分の考えを持つ
考えを交流する
さらに考えを深める

- なぜ浜田自動車道が開通した後に、郊外型大型小売店が浜田市に出店したのだろうか？
- では、実際に店長さんからのビデオレターを見て確かめてみよう。店長さんは出店理由を話されますから、意識して聞いてみましょうね。
- 浜田店を出店した理由を店長さんは大きく二つ話されていましたね。なぜ出店したのでしょうか？
- 郊外型大型小売店が浜田市に出店すると、浜田市の人は広島に買い物に行く必要がなくなったので浜田市の商業は活性化しているのではないのでしょうか？浜田市の商業にとって、何が問題なのでしょうか。予想しよう。
- 発表してみよう。
- それでは、予想を事実と比べてみましょう。
- この写真は廿日市市で商品に加工された肉です。何と浜田市の食料品売り場で販売されていました。この商品の売り上げは、どこにいくのでしょうか？
- この肉の売り上げは、まず、この肉を売った小売店、生産者及び加工した人、浜田までの運送業者です。
- この肉同様、浜田市以外の商品が広島にあるゆめタウンのセンターから浜田店に届けられ、売られています。その割合が実に8割だそうです。（スケールメリット＝規模の経済）
- 浜田の人は、広島に行かなくても広島や全国の商品が買えるようになりました。そのことは、浜田の商業になぜ問題なのでしょうか。
- つまり、直接広島へ行かなくても、間接的なストロー効果を招いたということですね。

T：発問する。
P：予想を立て、発表する。

T：メモをとる指示をし、ビデオレターを流す。

T：発問する。
P：答える。

T：投げかける。
P：予想する。

T：発問する。
P：答える。

T：発問する。
P：答える。

T：説明する。

T：投げかける。
P：発表する。

既習内容の
掲示物

ビデオレター
指導者撮影
平成22年1月

写真
指導者撮影
平成22年1月
廿日市で加工された肉

- 人や物の移動時間が短縮された。
- 広島から運ぶ時間が減ったから。



- 山陰には競争店が少なかったから。
- 浜田自動車道ができて広島に近くなり商品の輸送が簡単になったから。

- 浜田市の郊外型大型小売店で浜田市の人は買物をするのができたが、売り上げは浜田市にいかないのではないだろうか。

- 肉を加工した廿日市市
- 商品を売った浜田市
- 肉を運んだ運送業者

- 広島へ行かなくても、浜田の人は、広島や全国の商品が郊外型大型小売店で買えるようになったけれど、浜田で商業をしている人は、ますます自分の店で商品が売れなくなってしまった。

6 「浜田自動車道は、地域にどのような影響を与えたのだろうか？説明してみよう。」のまとめをしよう。

まとめる	<p>○今日の学習を通して、浜田市はどのような変容を遂げたのかワークシートまとめてみましょう。</p> <p>○次回は、高速交通手段ができて変わっていった地域を活性化させるために様々な工夫を行っている都市が中国・四国地方にはたくさんあり、そうした都市の魅力や工夫について考えていきましょう。 (観光業・地元商品のブランド化など)</p>	<p>T: 指示する。 P: ワークシートに説明し、記述する。</p>	<p>ワークシート</p>	<p>○直接的なストロー効果 浜田市内から広島市内まで、高速道路を利用すると1時間40分となり、従来に比べ約1時間短縮された。この浜田自動車道の開通により、休日広島市への買い物客が増加した。市の中心部の商店街はシャッター商店街化しているところもある。</p> <p>○間接的なストロー効果 高速道路の開通によって、物流の時間短縮が図られ、広島を拠点とする大手小売店や九州を拠点とする激安ショップが出店し、他県の小売店に収益が移動する間接的なストロー効果をひきおこしている。</p> <p>ポイント</p> <p>①ストロー効果は、橋だけに特化した現象ではなく高速道路の整備によっても起きる現象である。高速道路も橋と同じように、物流の時間短縮や消費者の購買行動を変え、それによって地元商業にも大きな変化をもたらす。</p> <p>②ストロー効果は明石海峡大橋のみに起きた個別的な事象ではない。</p> <p>③大都市に買い物に行かなくても、地元の郊外型大型小売店での消費が、地元商業に打撃を与える。</p>	<p>浜田自動車道が地域に与えた影響を理論的知識を活用し説明している。 [授業観察・ワークシート]</p>
------	--	---	---------------	---	---

【宿題】 高速道路無料化に関する記事を読み解き、今後の地域変容について予測しよう。

【次時】 中国・四国地方の諸都市がいかにか「ストロー効果」という共通の地域的課題を現実を受け止め、街を活性化しようとしているか調べ、単元を通じ、『中国・四国地方』とはいかなる地方なのかをまとめよう。

本時の展開 5 時間目

大野モデル	発問・説明・指示	教授・学習活動	資料	生徒から引き出したい知識	評価規準 (評価方法)	
見直しを持つ	<p>1 既習内容の整理</p> <p>○前回の学習を踏まえて、宿題で、高速道路無料化が実施されると、どのような変化が予想されかについて考えてきてくれましたね。自分なりの予想を発表してみよう。</p>	<p>T: 発問する。 P: 振り返り発表する。</p>	<p>中国・四国地方の掛け地図 地図帳 ワークシート 宿題レポート</p>	<p>○高速道路無料化になると、ますます規模の小さな都市は、大きな都市に経済的利益を吸収されてしまう。 ○ストロー効果が進んでしまう。</p>		
	<p>○みなさんよく宿題で考えてきていますね。では、次の資料をみてみましょう。 ○ここで、四国地方の知事が、ストロー効果がますます進むはずの高速道路無料化を「ピンチをチャンスにかえることができる」と発言しています。なぜでしょうか？予想してみよう。</p>	<p>T: 提示する。 T: 投げかける。 P: 自分の予想をワークシートに記述し発表する。</p>	<p>資料①NHK 四国スペシャル4 県知事会談</p>	<p>○地鶏で勝負しようとしている。 ○地鶏のような商品をどこの県も売り出そうとしている。 ○日帰りでも観光客が増えることを期待しているのかもしれない。</p>		
	<p>2 なぜストロー効果を心配する地方自治体が、高速道路無料化を歓迎しているのだろうか？説明してみよう。</p>					
	<p>○それでは、みなさんの予想と事実を比較してみましょう。次の資料②を読み解き、気付くことを発表してみましょう。 ○このことからなぜ高速道路無料化を歓迎しているのかについて説明してみましょう。発表してみてください。 ○では、浜田市はどうでしたか？浜田商工会議所の所長さんは、どうやって市の商業を盛りあげようとしていると話されていましたか。 ○ここまでの学習を少しまとめてみましょう。</p>	<p>T: 提示し発問する。 P: 読み解き、発表する。 T: 発問する。 P: 答える。 T: 発問する。 P: 答える。 T: 説明する。 P: まとめる・</p>	<p>資料②観光客の推移と観光業収益の推移（徳島県）</p>	<p>○徳島県では、観光客が増加している。 ○徳島県では、観光業の売り上げが年々増えている。 ○観光業で街を元気にしようとしているからお客さんがどんどん来てくれるように高速道路無料化を歓迎しているのだと思う。 ○観光業の売り上げを伸ばそうとしているのだと思う。 ○お魚センターやアクアス、海水浴で観光をさかんに行おうとしていると話されていた。</p>		
<p>規模の大きな都市と小さな都市を結ぶ、高速交通手段が整備されると、輸送や物流の利便性が増すと同時に、小さな都市の商業は衰退するが、観光業は発展する可能性がある。</p>						
<p>○では、観光客が集まって来る観光名所や特産物は、何がもとになってできあがっているのでしょうか。 ○では、中国・四国地方は、浜田市や徳島市のように大きな都市と結ぶ高速交通手段の整備によって、変化し観光業によって街を活性化しようとしている都市がたく</p>	<p>T: 発問する。 P: 答える。</p>		<p>○歴史 ○自然 ○偶然</p>			

見通しを持つ	さんありますが、どのような歴史や自然が観光地を生み出したのでしょうか。調べていきましょう。				
	3 本時の学習課題を確認				
◎中国・四国地方とはどのような地方なのだろう？他地域との結び付きの視点から説明してみよう。					
自分の考えを持つ 考えを交流する さらに考えを深める	○本時の学習課題をワークシートに書いて整理しよう。	T：説明する。 P：ワークシートに書きこむ。	ワークシート		
	○みなさんは、どのような中国・四国地方の観光地や特産物を知っていますか。	T：発問する。 P：答える。		○宮島 ○四国のお遍路 ○坂本龍馬○坂の上の雲ブーム ○香川の讃岐うどん ○鞆の浦 ○牡蠣 ○もみじまんじゅう ○錦帯橋 ○桃太郎 ○温泉 ○ゲゲゲの鬼太郎 ○鳥取砂丘 ○宍道湖のしじみ ○壇ノ浦 ○阿波踊り ○出雲大社 ○尾道 ○原爆ドーム ○大和ミュージアム など	
	○では、中国・四国地方の気候や自然環境を確認しましょう。地図や資料を読み解き、中国・四国地方の自然環境について分かることを発表してみよう。 ○みなさんがあげた観光地や特産物は、これらの自然や歴史的分野で学習した人物や事件とつながりがあることがよくわかりますね。こうした自然や歴史が生み出したものが、観光業として街を活性化させるひとつの手掛かりになっていることがわかりますね。	T：発問する。 P：読み解き、発表する。	地図帳 地理資料集	確認事項 中国山地 四国山地 瀬戸内海 日本海 太平洋 三種類の雨温図と地域の確認 中山間地域の過疎地域と高速道路網	
○これまでの学習を通して、中国・四国地方はどのような地域と言えるのか、ワークシートにまとめてみましょう。	T：指示する。 P：説明し、記述する。	ワークシート	中国・四国地方とは、中国地方と四国地方の9県をまとめた呼称である。中国・四国地方は、現在、本州四国連絡橋や高速自動車道等の交通体系の整備や瀬戸内海の環境保全など、両地方の共通の課題について協議会が設置されている地域区分である。他地域との結び付きの視点で両地方を見ると、中山間地域の過疎地域を抱え、都市との結び付きを可能にするために高速道路網が整備されている。高速交通手段の整備によって他地域との結び付きが深まった反面、その結果もたらされる経済的な地域の変容である「ストロー効果」を生んだ。ストロー効果によって収益が大都市へ吸収され、地元商業は打撃を受けたが、観光業を中心にまちの活性化を図ろうとしている。観光名所や特産物は、中国・四国地方独自の自然環境や歴史的要因が生み出している。	中国・四国地方とはいかなる地域なのかを明らかにし、レポート形式でまとめることができる。[発言内容・ワークシート]	
まとめる					

規模の大きな都市と小さな都市を結ぶ、高速交通手段が整備されると、輸送や物流の利便性が増すと同時に、小さな都市の商業は衰退するが、地域の歴史的要因や自然環境が生み出す観光資源を中心に観光業は発展する可能性がある。

